



平成 19 年

メールマガジン 『日本人の 98% は知らないタイ株投資!』

Home Pageはこちら 「タイ株(アジア株)と海外投資」 <http://thaikabu.net/>

Blogはこちら 「アジア株(タイ株)と海外投資」 <http://toatoa.jugem.jp/>

発行者 TOSHIYUKI ABE (タイ在住)



タイ株投資情報 創刊号

まずはお読み頂き有難うございます。
このメールマガジンを書き始めた ABE と申します。

「BRICs 以外の新興国はどうなんですか？」
こんな言葉から始まるメールを最近良く頂くようになりました。
そしてこのメールマガジンをお読みになっている方・・・
鋭いです。動きが早いですね。
もしかしたら相当外国株投資に関して勉強されている方かもしれません・・・

2006年に入り複数の証券会社でも BRICs ではなく、さらに有望な新興国を探し始めました。その中でもキーワードは『アジア』。

ポスト BRICs に続く可能性が非常に高い新興国の国々をまとめて呼ぼうとするキーワードが出てきました。

1、NEXT ELEVEN 『ネクスト・イレブン』

ゴールドマンサックスが提唱。人口の多さ、その他経済指標から経済成長が見込める新興国を選び出した 11ヶ国。

バングラデッシュ、エジプト、インドネシア、イラン、韓国、メキシコ、ナイジェリア、パキスタン、フィリピン、トルコ、ベトナムの 11ヶ国です。

2、TIPs 『ティップス』

野村證券が提唱してアジアの自由貿易協定(EPA・FTA)の推進と中産階級層の広がりが見込まれる中で経済成長が見込めると判断した 3ヶ国。頭文字はタイ、インドネシア、フィリピンの 3ヶ国です。

3、VTICs 『ブイティクス』

VTICs とは・・・日本企業が注目するベトナム・タイ・インド・チャイナのアジア新興 4カ国の頭文字 V(veitnam)T(Thailand)I(India)C(China)を集めたもの。
合計人口は約 25 億人になり、国内総生産の合計は世界全体の 8%強を占める。

しかし知り合いの方では読みがずばり当たって倍にしている方もおります。

そもそものタイ株投資のきっかけは「日本人でもタイの株式市場に投資できる！」
と言うのを知ってからでした。
それまでわたくしは日本人は日本株しか投資できないものと思い込んでおりました。
(思い込みって良くないですね。)

さて第1号ですので気合を入れて書いていきます。

□□No 1 タイ株初心者編です■ ■

それではまずはタイの国の概要から始めます。(ご存知の方は上級編へ)

1、国土

タイ王国は51万平方Kmの面積におよそ6500万人の人口を有していて
このうち約800万人が首都バンコクであるバンコク (タイではクルンテープと言う)
に集中する一極集中型の国家である。

2、地理

立地ではインドシナ半島の中心にありマレーシア、カンボジア、ベトナム、ラオス、
ミャンマーとの5カ国に国境を置いた場所に位置している。

3、気候

全国土に亜熱帯性気候に属していて年平均気温は南部では28度。
3つの季節に分類され、雨季6～10月、乾季11～2月、
暑季の3～5月が最も暑い時期である。

4、歴史

1782年からのチャックリー王朝から Rama 国王が統治しており、現在の Rama 9 世 =
プミポン国王は、国民から絶大な信頼を得ている。

5、宗教

タイ国籍を持つすべての国民に平等な権利を与えており融和政策を取っている。
タイ族が75%で他にマレー人、華僑、カンボジア人、インド人など。
北部には少数部族が居住する。
宗教は仏教であるが日本とは異なる上座部仏教。
戒律が厳しく僧侶は女性に触れることすら厳禁でその他にも厳しい戒律がある。

管理人のコメント。

さて一番最初に来たタイランドは初めはどこにあるのかさえあやふやでした(笑)
世界地図を引っ張り出して確認する。
日本の国土が38万平方Kmなので日本よりも広いですね。
しかし空港に降り立ってみると日本企業の看板だらけ。

あまりメディアにも強く語られていませんが
相当な親日の国です。日本の天皇にも関心が高く、日本食、日本製品、
ファッション、芸能人などがタイの国民にも受け入れられています。

さらには日本の自動車産業のほとんどがタイへ進出しており、その他、電機、
金融、大手日本企業の名前がずらずらと並びます。

バンコク一極集中と言うのは事実です。
幹線主要道路の渋滞も毎日続きます。
これは都市計画を策定する際のミスで都市面積に比べて道路面積が圧倒的に
少ないのが原因です。
そのため鉄道敷設にも高架モノレールを選択せざるを得ないようになって
しまったのです。

毎日暑いのも本当ですが感じるのは日本の真夏よりは過ごしやすいかなと
思うことがあります。
日本の夏は、じめじめしたきつい暑さですが、タイはまだ我慢できるレベル
です。日差しが強いで気をつけなければいけません・

暑季にはソンクラーンと呼ばれる水掛祭りがあり、タイの国中で
老若男女が水を掛け合う行事です。
4月の3日間はまさに無礼講と呼ぶにふさわしい水掛合戦が始まります。

国王を抜きにしてこの国のシステムを語れないほど
国王はタイ国民にとってシンボル以上の絶対神に近いほどです。
崇拜と尊敬の念を抱かれています。
この件はまた取り挙げますが、とにかく人格者でありタイ国の最高のキーパーソンです。

また仏教も日本と異なり、タイ国民男性のほとんどが短期の出家をする慣習がいま
でも残っているそうです。厳しい戒律と仏塔へのお参り、お布施、などなど
タイの文化に深く関係しております。

□□N o 2 タイ株上級者編です■ ■

過去のタイ株関連メルマガであまり触れられてなかったコーナーを作りました。

●● 001 PTT です。○○

PTTは2001年10月、タイ石油公団が株式会社に組織転換して誕生し、

Issued by Toshiyuki Abe in 902/112 SVcity Tower1 Rama3Rd Yannawa Bangkok 10120

Under a 2 Research Company date, I Toshiyuki Abe wrote this overview research and comment in this report. As a result investors should be aware that the report & comment may conflict of interest that could affect the objectivity of this report.

Investor should consider this report as only a single factor in making their investment decision.

同年12月に上場した。タイ国内最大のエネルギー会社として、石油・天然ガスの生産、精製、販売や子会社を通じた石化事業を展開している。

2006年現在、タイ政府が株式の68%を所有。

東南アジアの諸外国とも提携してエネルギー会社を経営しており、タイ最大級の大型企業である。PTTの傘下として数多くの子会社を抱えており、エネルギー企業では収まりきらない会社である。

PTTEP、PTTCH、TOP、TPI(現在IRPC)、RRCなど名立たるタイ大手企業に出資していてタイ国内、海外においてエネルギーの供給を支えている。

さて長いですが読めましたでしょうか。

SET内時価総額でも1位でかなりの割合を占めます。

この企業抜きにタイの株式を語れないのですが、先日は市民団体に

『国営企業だったPTTが上場するのはおかしい』と裁判を起こされています。

タクシン前首相は国営企業をどんどん民営化させて経済の活性化を狙っていたのですが、EGAT(タイ発電公社)THBEV(タイ・ビバレッジ)など昨年2005年に市民団体から猛烈な抗議運動により、上場延期、上場差し止めをくらってしまいました。

さらに詳しい情報もありますが
直接管理人にお問い合わせ下さい。

2006年9月26日現在の株価は212バーツで終わりました。

裁判所に上場廃止請求が出されてから急落しました。

原油高を受けて夏場まではかなり上昇したのですが・・・

2005年度のPTTの連結決算は、

総売上高が前年比44%増の9608億302万バーツ、

(日本円でおよそ2兆8824億円)

純利益が同36%増の855億2000万バーツと大幅な増収増益を記録しました。

(日本円でおよそ2565億円)

となっております。

□□N○3 タイ国内ニュース編です■

タイでは9月19日午後10時過ぎクーデターがありました。

その時わたくしは・・・

家でのもんびりとパソコンを見ておりました。

友人からもらったメールに「クーデター発生！家に避難した方がいいよ。」の文字がある。

「そんなことあるわけじゃない。」

タイに住んでもうすぐ2年。そんなことじゃ騙されないぞ。
と思ってたら・・・
ホントだった！
もうびっくりでした。肝心のTVは軍に占拠されてまったく動かず。
流れるのは国王様の画像。

友人にも確認の電話をするものの、やはりお互いの安否確認のみで、とりあえず自宅待機して外には出ないようにすること。

こうなると頼りはネットのみでした。
MIXIのサイトではかなりのバンコク在住、タイの地方都市在住の方がネットワークを作っていて最新の情報がどんどん更新されていきます。
(結局事態が沈静化するまで200を超えるコメントと情報が寄せられました。)
中にはわざわざ首相府官邸まで出掛けて行ってカメラで戦車を撮ってた日本人もいたようです。

こういったSNS(ソーシャルネットワークサービス)やWEB2.0と言った相互で情報を瞬時にやり取りできるシステムは災害・大規模なトラブルなどにでも役立つに違いない！

日本の新聞では外務省が安否確認したなどと発表してましたがほとんどの友人にも在留届出しても何の連絡も来なかったと言っていました。
緊急の時ほど日本政府には頼れないことを再び痛感した今回の事件でした。

結局1日休暇ができただけで
ほとんどの日本人は何事もなく平穏無事に過ごしています。

□□No 4 追伸です■

さてこの欄ではそもそもわたくしABEがタイに来るきっかけになったことからお話ししたいと思います。(九州編1号)何回かに分けて続きます。)

わたくしは東京都北区の病院で生まれて、4歳までそこで過ごしました。
北区飛鳥山公園、都電はいまでは非常に懐かしい場所です。
(桜がとても綺麗な場所です。)

そこでガキ大将のような生活をしていたところ、
突然父の転勤ではるか遠くの九州福岡県大牟田市へ引っ越すことに。

ここで大きなカルチャーショックを受けるのです。
入った幼稚園は標準語がまったく通じないど田舎(地元の方スミマセン)だったのです。
「ばってん～ しかりしか～ ～ばい」などなど。

「何を話しているのかさっぱりわからん！」
これが片道1時間半かけて通った幼稚園の中での第一声でした。

当然ながら田舎で標準語をしゃべる東京もんが来たぞ、と言うことで
若い年齢であれば当然仲間外れ(悪く言うといじめの標的)にされることが多
くなります。まあ良くあるパターンです。

が、ここでその地域の言葉を覚える重要性、とけ込む重要性を痛いほど感じました。
子供なので吸収が早く、3ヶ月で方言をマスター。

こう言った異文化でどうすればスムーズに対応できるかを学ぶ、
ここがわたくしのスタート地点だった気がします。

(九州編第2号へ続きます。)

最後までお読み頂き有難うございました。

ブログとともども次号もぜひよろしくお願ひいたします。

●注意事項です

- 1：わたくしのメールマガジンは客観的情報の提供を目的としており、投資等
の勧誘または推奨を目的としたものではないことをご了承ください。
- 2：タイの情報については細心の注意を払っておりますが、その内容に相違が発生する
場合もあり、保証するものではありません。
- 3：タイの株式売買決定は自己責任でお願い致します。

□□□□□□□□□□□■□□□□□□□□□□

メールマガジン 『日本人の98%は知らないタイ株投資!』

発行責任者： TOSHIYUKI ABE

※公式サイトはこちら → <http://toatoa.jugem.jp/>

Copyright (c) 2003-2006 Toshiyuki Abe. All rights reserved.

□□□□□□□□□□□■□□□□□□□□□□

Issued by Toshiyuki Abe in 902/112 SVcity Tower1 Rama3Rd Yannawa Bangkok 10120

Under a 2 Research Company date, I Toshiyuki Abe wrote this overview research and comment in this report. As a result investors should be aware that the report & comment may conflict of interest that could affect the objectivity of this report.

Investor should consider this report as only a single factor in making their investment decision.